



地域おこし協力隊
長谷川 幸太郎 さん

名張地区の活性化を担う「地域おこし協力隊」として、昨年、家族とともに東京から赴任。ここにはスタッフとして潜入し、新たな人脈づくりに余念がない（P11にも登場）



東京との2拠点生活
福地 康弘 さん

東京と名張の2拠点生活を送っていて、ここを名張の新たなつぎの居場所としている。自家菜園で育てたバジルはスタッフにもおすそ分けして大好評だ



まちづくりを学びたい
杉田 香乃 さん

名張を愛する奈良県立大学3年生。（一社）「つなぐ」の設立メンバーでもあり、空き家の改築などにも参加。「生」のまちづくりを学ぼうと、スタッフとしても関わる行動派



まちづくりの扉をたく
立山 和樹 さん

「子どもたちの居場所をつくりたい。ここなら何かできそう」と、FLAT BASEのSNSを見て梅が丘からやってきた。花火大会当日に、スタッフと子ども向け企画に初挑戦



東京版 FLAT BASE !?
瀧島 忠典 さん

東京都羽村市の観光協会理事。ここで人がつながっていく様子を目の当たりにし、東京版 FLAT BASE の設立を目指す。非常勤講師を務める法政大学の学生と名張をつなぐ構想も



鳥羽からふらっと…
佐藤 創 さん

東京出身、鳥羽市在住の元地域おこし協力隊で映像作家。ここで開催された講座の講師に招かれて以来、立ち寄るように。スタッフからは「はじめちゃん」の愛称で慕われている



ご近所さん
角田 康代 さん

ここで週2回実施されるラジオ体操に休まず通う91歳。元民生委員で地域の配食ボランティアなどにも参加。体操後のティータイムでのおしゃべりも楽しみのひとつ

いろんな人たちが、
いろんな目的をもって、
いろんなところから
フラットベース
この場所を訪れます



近大高専の田中先生による町家調査結果を聞く会。地域の皆さんもたくさん来てくださって、古いまちの価値を再認識。新たな町家を調査する話も進み出しました。



鳥羽で地域共生を目指す谷水さんと野山さんの想いが重なり意気投合。隣で話を聞いていた大学生の杉田さんがフィールドワークを依頼して、後日実現！



「花火大会の日にだれが一番盛り上がる？」をテーマに、壮大なミニゲームを繰り広げた。子どもたちの喜ぶ顔をみて、大人たちが一番盛り上がったかも！



この日はフラットベースを拠点に、名張高校の生徒とスタッフが一緒にまち歩き。地域の皆さんのお話も伺いながら、まちの活性化を考えてもらいました。



市内の子育てサークルが普段の活動場所を離れ、メンバーの保育士や助産師などによるオリジナル講座や縁日遊びを開催。新たなパパ・ママ友の交流が生まれました。



FLAT BASE 管理人
野山 直人 さん

FLAT BASE 管理人
北森 仁美 さん

野球やサッカーなど趣味があう人が集まったり、「三重にもう一つ帰りたい場所ができた」と言ってくれる利用者がいたり…。ここは、まるで「大人の秘密基地」のよう。貸しスペースは、用途を限定していませんが、できる限り人との出会いを大切にいただいています。

花火大会の日に地域で盛り上がる企画はなにかと、スタッフ同士で頭を悩ませていたら、「子どもたちの居場所をつくりたい」という

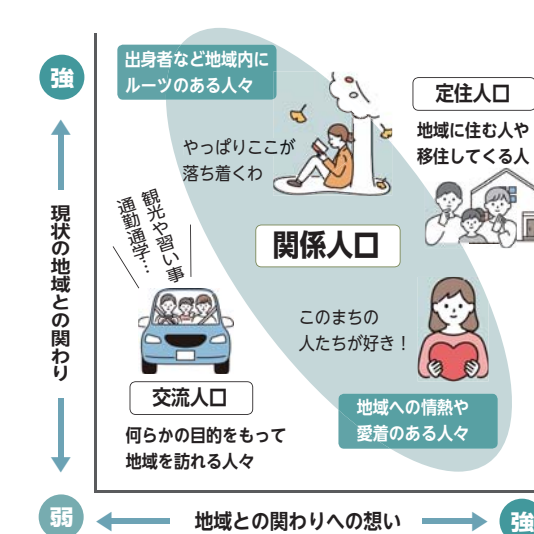
男性が本当に「ふらっと」やってきたんです。これって運命やんって！「まちのために何かしたい」と思う人がいれば、それを実現できる場所や人のつながりがあることが大切ですね。

人口減少が課題となっていますが、本当の課題は、人口減少社会でも幸せに暮らす方法に向き合うことなのかもしれません。ここを拠点に、いろんな人がつながって、わいわい楽しく暮らせる居心地のいいまちにしていきたいです。

特集 まちの賑わい、明日へつなぐ。▶ 地域の内外から人が集える場所を

想いと縁をつなぐ

空き家を改修したテレワーク施設「FLAT BASE(フラットベース)」(元町)には、地域の内外から人が集い、さまざまな想いと縁をつないでいます。



FLAT BASE



全面ガラス張りので
気軽に中がのぞける

まちの賑わい創出に向けて重要なのは、移住者や観光客を増やすことばかりではありません。地域内にルーツがある人や、地域に情熱や想い、愛着をもつ人（関係人口）をいかに巻き込んでいけるかがポイントとなります。

「フラットベース」を管理する北森さんと野山さんは、実は、旧市街地に住んでいるわけではありません。「名張は、住宅地や村落部、旧市街地といろんな顔があって、自分の関心に合った活動の場を選べる場所があり、外からも気軽に人がやってくる。そうやって、まちの中にいろんな人が馴染んでいけばいいですね」と野山さん。

オープンから半年が経過した「フラットベース」。9人のスタッフとともに、「関係人口」を紡ぎながら、まちに変化をもたらし始めています。

まちの賑わい創出の力を握る
まちへの愛着をもつ「関係人口」

地域課題と市の取組 ① 「人口減少」

名張市の人口は平成12年をピークに、平成13年以降、転出者数が転入者数を上回る「転出超過」が続き、令和27年には6万人を下回ると予測されています。

市では、令和2年に、第2期目となる「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。人口減少を食い止めるため、働く場の確保や、都市部からの人の流れをつくること、結婚・出産・子育ての希望をかなえることなどを基本目標として、さまざまな取組を推進しています。



第2期総合戦略

問 地域活力創生室 ☎ 63-7782



地域活力創生室
伊奈 真由美

